

④<チームマネジメント>

チームの一員として、同僚と協力して課題解決に取り組む教職員集団をつくるための校内研修は？

【キーワード】 主体性 同僚性 必要性



【事例：学力検査結果を活用した研修】

1 ねらい

学力検査結果の分析・活用方法を理解し、指導改善に活かす

2 内容と方法（実施時期 1学期または夏期休業中）

(1)標準学力検査の目的や結果データの見方を理解する。自校や各学年・学級の検査結果を分析し、指導の成果と課題を把握する。

(2)実際に検査問題を解き、学年会単位のグループで「三角定規を用いてできる角度」の問題から、出題の意図や目的、児童のつまずき等について演習形式で協議する。

(3)小問単位で結果を見返し、指導の成果と課題を明確にする。

① 前の学年の教科書（または指導書）を受け取る。

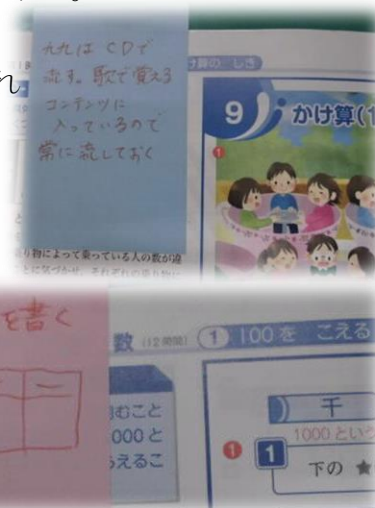
② 課題が見られた問題が、教科書のどの部分で扱われているかを探し、そこにピンク色の付箋をつける。

③ 成果が見られた部分には青色の付箋をつける。

④ 指導の工夫や反省、改善法等を付箋にメモする。

⑤ 教科書を前の学年に返す。

→付箋が貼られた教科書（指導書）を使い2学期以降の授業改善に役立てる。



3 校内研修の様子（以下）

○研修会での役割 ※実施後の感想

○教頭 【次世代育成期】研修会講師 全校の傾向分析 資料づくり

○学年主任 【次世代育成期】学年の結果や傾向等を講師に情報提供

※付箋を貼ることで、昨年度の取組を振り返ることができた。付箋に書かれた内容を大事に指導していきたい。来年度の結果に興味が出てきた。

※改めて「自分の考えを書く」「友だちの考えと比べる」「具体的な操作を取り入れる」といったことが大切だと自覚しました。学年会でより具体的な指導について確認していきたいと思います。

▶セルフチェック④-10

○学力向上担当者 【充実期】研修会の企画・進行・記録

○研究主任 【充実期】研修内容のまとめを研究便りで発信

※検査結果をつかんだ後の授業改善として、やはり“主体的で対話的な深い学び”を目指していきたいと思いました。そのために子どもの願いを生かした追究時間を確保して授業をしていきたいです。

▶セルフチェック④-7

【伸長期の教員】

○学年グループ別の演習・協議の進行

※学力検査の結果から見えることが多くありました。三角定規を使った演習で「ここは何度なのか知りたい」という必要感が生まれると思いました。

※学年のメンバーで前の学年の指導について分析しながら成果と課題を考えることによって、目の前の子どもたちの指導課題も見えてきました。

※△年生は、具体物の操作を取り入れた単元や絵や図がある問題の正答率が高いことがわかりました。2学期は、読むことの指導に力を入れていきたいと思いました。

▶セルフチェック④-5



【基礎形成期の教員】

○感想発表

※今までは、検査結果を見て一喜一憂するだけでしたが、研修のまとめにあった「学力検査は結果ではなく出発」という考え方が大切だと思いました。

※具体物を使って操作する活動を多く取り入れていきたいと思いました。これからも様々なことを進んで学んでいきたいです。

▶セルフチェック④-3

【研修を通して】

教頭は、これまでの経験や教頭研修の内容から、学力検査の意味や目的について、自校の検査結果を関連付けて説明した。

研修の内容や資料として、自校の検査結果を扱うことで、学力検査の研修に「主体性」や「必要性」をもって取り組めるようにしたいと考えた。また、演習や協議を学年毎のグループ単位で行うことや、前年度の教科書（指導書）に指導の成果や課題をメモして日常の指導で活用するように促すことで、「同僚性」を培うこともねらいとした。

研修会後に、各学級担任は学級の検査結果の分析と指導改善の具体についてまとめ、2学期以降に実践したいと意欲的であった。今後は、学力向上担当者にも研修講師の役割を担うように連携を図っていきたい。

チームの一員として、同僚と協力して課題解決に取り組む教職員集団をつくるための校内研修を進めるためには・・・

- ① **主体性**：学級集団や個人の学力検査（調査）、Q-U等や学校評価等のアンケート調査の結果を、自分の指導を振り返る機会とします。互いに心を開いて、結果を謙虚に受け止めて自分自身の指導改善に役立てます。
- ② **同僚性**：同じ学年や教科を担当する職員で、検査等の結果やデータ、児童生徒の様子などを考え合う時間を確保します。目の前の児童生徒の力を伸ばすために、共に力を合わせて取り組む雰囲気醸成します。
- ③ **必要性**：校内研修に年間を通したサイクルを作ります。研修と実践の時期的なバランスを考え、それぞれのライフステージに合わせて、仲間と共に自身の力量向上を目指す意欲を高めていきます。